第41期[平成28年度]事業報告

当センターは、昭和51年に愛知県知事認可法人として、地域における自然・社会の複合的環境に関する科学的研究を行うとともに、その体系化の確立と普及を図り、望まししい人間環境の保全と創造に寄与することを目的として設立され、その後、平成25年に一般社団法人へと移行し、丸4年が経過しました。

また、平成 15 年に愛知県知事より「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の指定、その後、平成 20 年、25 年に再指定を受け、地球温暖化に関わる情報の発信や地球温暖化防止活動の支援など、愛知県における地球温暖化防止活動の拠点としても役割を担い、現在に至っております。

平成 28 年度[第 41 期]においても、公益目的事業としての機関誌「環境」の発行や 講演会・セミナー等の開催を通して、環境に関する情報を発信することで、地域住民 や事業者等に対し、環境に関する今日的テーマの普及・啓発を推進することに努めて きました。また、地球温暖化防止活動の拠点として、県内の住民や事業者の地球温暖 化防止活動の活性化に向けた各種事業を実施することができました。

一方、委託事業・補助事業等については、一般社団法人への移行後、各年度で若干の増減がありますが、ほぼ横ばいで推移しています。今期[第41期]は、補助事業の減少に伴い、前期[第40期]に比べ、件数及び金額ともに減少しました。

これからも、公益目的事業、及び収益事業の更なる実施に努めると共に、持続可能な地域社会の構築を目指し、環境の保全と創造のため、住民や事業者に向けた地道な普及啓発活動を継続的に行うとともに、住民及び事業者と行政の連携、協働による取り組みの推進役としての役割を担ってまいります。

I. 事業の実施状況

(1)公益目的事業1 (機関紙「環境」の発行【定款第4条第1項の(5)】

項目	事 業 内 容 (敬称略)
会員の状況	正会員数48名(個人:42名, 法人:6名) 機関紙「環境」定期購読者9名 (平成29年4月1日現在)
機関誌等の発行	『環境』141 号 平成28年6月17日発行(発行部数:400部) ・特集<一般社団法人環境創造研究センター創立40周年記念講演会> 1.環境創造研究センター40年を振り返って (三重大学 名誉教授/愛知工業大学 客員教授 伊藤達雄) 2.話題提供 持続的な自然の恵みを享受するための仕組み ~中部地方の環境変遷から学ぶ~ (名古屋大学 教授 林希一郎)

3. 基調講演

いなしの智恵~新たな環境創造を目指して~ (造園家/東京都市大学 教授 涌井雅之)

4. パネルディスカッション

<~中部地方の環境変遷と新たな環境創造を目指して~>

パネリスト:涌井雅之 造園家

パネリスト: 林希一郎 名古屋大学教授

パネリスト:藤井敏夫 元愛知県環境部長

パネリスト:杉山範子 名古屋大学特任准教授

コーディネーター:福井弘道 理事長

・平成27年度 愛知県環境部の主要事業

『環境』142号 平成28年11月25日発行(発行部数:400部)

- ・講演記録「これからの環境アセスメント〜IAIA 国際会議を受けて〜」 (愛知学院大学総合政策学部長 教授 森下英治)
- ・講演記録「地球温暖化対策の最近の動向について」(環境省中部地方環境事務所 環境対策課長補佐 加藤泰明)
- ・身近な自然を親しむ~初冬「春告魚・メバル」 (釣り人 工藤秀和)
- 特集

<市民と事業者の連携・協働によるフロン対策の継続実施セミナーI>

- 1. フロン排出抑制法の狙い〜関連事業者の更なる取組み〜 (一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会 大沢勉)
- 2. あなたの皮膚は若返る!~老化のしるしと諦めていた光老化~ (再生未来クリニック院長/神戸大学名誉教授 市橋正光)
- 3. 暮らしとフロン~フロンとの付き合い方~ (滋賀県立大学理事/名古屋大学名誉教授 岩坂泰信)
- 4. トークセッション

<フロンに対する向き合い方を考える~緩和と適応の視点から> パネリスト:大沢 勉(一社/日本冷凍空調設備工業連合会)

パネリスト:市橋正光(神戸大学名誉教授)

パネリスト:岩坂泰信(名古屋大学名誉教授)

パネリスト:福井弘道(中部大学中部高等学術研究所長)

コーディネーター:原 理史(中部大学)

『環境』143 号 平成29年3月30日発行(発行部数:400部)

• 講演記録

<大気環境セミナー『空気』を考える>

- 1. 空気は誰のものか ~世界「空気の日 (Air Day)」~ (韓国建国大学校 教授 Yoon Shin Kim)
- 2. トークセッション

<~空気は流れる~>

パネリスト: Yoon Shin Kim (韓国建国大学校 教授)

パネリスト:岩坂泰信(名古屋大学名誉教授)

パネリスト:甲斐憲次(名古屋大学大学院環境学研究所) パネリスト:福井弘道(中部大学中部高等学術研究所長)

コーディネーター:原 理史(中部大学)

3.「空気」を考える

(三重大学名誉教授 伊藤達雄)

- ・身近な自然を親しむ~春「本流のアマゴ・サツキマス釣り」 (釣り人 工藤秀和)
- ・講演記録「緑のカーテンの普及啓発による地球温暖化対策について」 (愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室 主任 水野 肇)
- ・講演記録「ごんぎつねと暮らせる知多半島を目指して 〜知多半島における生態系ネットワーク活動〜」 (日本福祉大学健康科学部長 教授 福田秀志)

(2) 公益目的事業2 (講演会及びセミナー等の開催) 【定款第4条第1項の(4)】

項目	事 業 内 容 (敬称略)
講演会・セミナー	<環境創造・環境共生講演会>
	○開催:平成28年6月17日
	会場:名古屋都市センター(参加者 42 名)
	講師 愛知学院大学総合政策学部長 教授 森下英治氏
	演題「これからの環境アセスメント~IAIA 国際会議を受けて~」
	○開催: 平成 28 年 11 月 2 日
	会場:ウインクあいち(参加者 38 名) <基調講演>
	講師 韓国建国大学校 教授 Yoon Shin Kim氏
	演題「空気は誰のものか~世界「空気の日 (Air Day)」~
	 くトークセッション>
	「空気は流れる」
	パネリスト:韓国建国大学校 教授 Yoon Shin Kim氏
	滋賀県立大学理事/名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏
	名古屋大学大学院環境学研究所 教授 甲斐憲次氏
	中部大学中部高等学術研究所所長 教授 福井弘道氏
	コーディネーター:中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏
	○開催:平成29年3月17日会場:ウインクあいち(参加者41名)講師 中部大学総合工学研究所 教授 林 良嗣氏 演題「成長の限界、ファクター4、そして循環経済」
	<愛知県地球温暖化防止活動推進センター講演会>
	○開催:平成28年7月22日
	会場:名古屋都市センター(参加者 36 名)
	主催:愛知県地球温暖化防止活動推進センター
	(一般社団法人 環境創造研究センター)
	講師 日本福祉大学健康科学部長 教授 福田秀志氏
	演題「ごんぎつねと暮らせる知多半島を目指して
	~知多半島における生態系ネットワーク活動~」
	<その他講演会・セミナー I (推進員セミナー関連)>
	○開催:平成28年9月7日
	会場: ウインクあいち (参加者 34 名)
	話題提供:「地球温暖化対策計画の解説とパリ協定を受けた今後の動き」 講師:環境省中部地方環境事務所 環境対策課課長補佐 加藤泰明氏

○開催: 平成 28 年 10 月 5 日

会場:ウインクあいち(参加者32名)

話題提供:「気候変動テキストの活用法を考える」 講師:中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏

○開催: 平成29年1月25日

会場: ウインクあいち (参加者 38 名)

話題提供:「緑のカーテンコンテストの普及啓発による温暖化対策」

講師:愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室 主任 水野 肇氏

<その他講演会・セミナーⅡ (フロン対策セミナー関連) >

○開催: 平成 28 年 10 月 15 日

会場:名古屋能楽堂会議室、名古屋城、本丸御殿(参加者41名)

テーマ:第1回環境科学カフェ+歴史散策

~名古屋城でフロンのなかった江戸時代に想いを馳せる~

講師:名古屋産業大学大学院非常勤講師 児玉剛則氏 名古屋城観光ガイドボランティア 今川晴人氏

○開催: 平成 28 年 11 月 19 日

会場:名古屋市文化の道「百花百草」(参加者36名)

テーマ:第2回環境科学カフェ+ミニ音楽会

~フロンという教訓から人新世・現代文明が語りかけるもの~

講師:中部大学中部高等学術研究所長 教授 福井弘道氏

○開催: 平成 29 年 2 月 17 日

会場: アサヒビール名古屋工場 (参加者 48 名) テーマ: 第3回環境科学カフェ+工場見学 ~フロンのオゾン破壊は止まった!

シナリオの裏にある危険性と未来展望~

講師:滋賀県立大学理事、名古屋大学名誉教授 岩坂泰信氏

(3) その他事業(委託事業・補助事業など)【定款第4条第1項の(1)、(2)、(3)】

<委託事業>

受託先	件名	内 容
中部地方環	平成 28 年度 東海地域等にお	東海地域等(愛知県・岐阜県・三重県・長野県)に
境事務所	ける気候変動の影響と適応策	おける地域特性・産業特性等を考慮し、気候変動によ
	等の動向調査業務	る影響や気候変動対策(緩和・適応)の状況について動
		向調査(ヒアリング調査等)を実施。
		愛知県については、「花き・施設園芸」と「奥三河
		高原ジビエ」、岐阜県は、「東美濃の栗」と「多治見市
		の暑さ対策」、三重県は、「英虞湾の干潟再生」と「災
		害に強い森林づくり」、長野県は、「山岳自然環境」と
		「NAGANO WINE/信州ワインバレー」を取り上げ調査。
		調査結果は「適応策等地域フォーマット」に整理す
		るとともに、気候変動に関する各種コンテンツをもと
		にブース出展展示資料やプレゼン資料を作成。
		また、昨年実施した北陸地域の動向調査と併せ、
		中部地域における気候変動の影響と対策として、中部
		地方の気候(気温・降水量・降雪量・海面水温)の長
		期変化、気候変動対策としての適応の取組み事例を紹
		介するリーフレットを作成。
愛知県	平成 28 年度 地球温暖化防止	「あいち緑のカーテンコンテスト」の募集・受付・
	活動普及啓発事業(*)	ツール作成。地球温暖化防止活動推進員の研修、及び
		推進員の年間活動報告書のとりまとめ。地球温暖化対
		策地域協議会の活動とりまとめ等を実施。
		また、環境家計簿を活用した「わが家の省エネ&CO2
		ダイエット作戦」を継続実施。具体的には、「ウエブ
		サイトの運営」「サーバーの確保」「広報資材の作成及
		び広報活動の実施」「事務局の設置」「CO2 排出量等の
		集計」等を実施。
名古屋市	平成 28 年度 うちエコ診断モ	名古屋市環境局の依頼により、住宅展示場「黒川ハ
	デル実施業務	ウジングセンター」のセンターハウスにおいて、環境
		省のうちエコ診断をモデル的に実施する業務。
		展示場来場者の中で希望者に簡易的な「うちエコ診
		断」を実施し、「うちエコ診断」の PR そして受診者の
		家庭におけるエネルギー使用状況とCO2排出量を見え
		る化し、家庭における省エネ活動を支援。
豊田市	平成 28 年度 環境教育用教材	豊田市における「環境の保全を推進する協定協議
	作成業務	会」の部会が作成した案を基に、環境に対する取組や
		環境法令順守に関する環境教育用教材を作成。
		作成した教材は、「大気質・悪臭」と「騒音・振動・
		低周波」の2種類(各A4,32頁、2,000部)で、教材
		の編集及び紙面デザイン、グリーンプリンティングマ
		ーク対応の印刷を実施。

受託先	件 名	内 容
日進市	平成 28 年度 にっしん省エ	環境省の「地方公共団体と連携した CO2 排出削減
A \(\int \)		促進事業」を活用した業務委託であり、日進市の省
	CHOICE」促進ネットワーク	エネ倶楽部活動として低炭素地域づくりに向けた以
	事業	下の事業を実施。
	7.1	①子どもの環境教員をきっかけとした家庭の省エ
		ネ活動として、子ども省エネ教室、高等学校クラブ
		活動の行ける省エネWSの実施、環境イベントにおけ
		るLED 体験コーナーの設置。
		②省エネ推進のための事業所等の活動として、小
		規模事業所省エネ勉強会、簡易省エネ診断、LED キ
		ャンペーンの実施。
		③にっしん環境まちづくりサポーターズ活動とし
		て、ESD普及啓発事業やわいわいフェッスバルと連
		携した「COOL CHOICE」の普及啓発を実施。
木曾岬メガ	平成 28 年度 弥富地区環境学	木曽岬メガソーラー㈱が木曽岬干拓地に建設し
ソーラ㈱	習支援事業(*)	たメガソーラー発電所は敷地面積 78hs(ナゴヤド
		ーム約 20 個分) にパネル約 20 万枚を張り詰め、1
		年間で一般家庭 14,500 世帯分の電力を発電。
		同発電所を安定的に維持運営するうえで、地域の
		理解・協力が必要不可決であり、地元の愛知県弥富
		市及び三重県木曽岬町の小学校に対する環境学習
		の支援を実施。
中部電力㈱	企業の環境経営に関する評	企業の環境経営に対する評価・格付けは、日経新聞
	価・格付けの現状調査業務	社の「企業の環境経営度調査」始め幾つかある。年々
		対象分野が拡大される傾向にあり、その動向を把握し
		対応する必要がある。
		そこで、①企業の環境経営の評価・格付け調査の把
		握・整理、②調査の評価手法や評価対象分野の分析、
		③評価の高い先進企業の取組の調査分析、④社外評価
		向上のための対応策の検討、を実施。
中部電力㈱	平成 28 年度 エネルギー関連	一般市民に、エネルギー全般について共に考える場
名古屋支店	施設見学企画・運営業務	を提供することを目的に、エネルギー関連施設の見学
		会の企画・運営を実施。
		平成 28 年度は、自治体を中心とする連絡調整会議
		のメンバーを対象に碧南火力発電所の見学会、推進員
		を対象に浜岡原子力発電所の見学会を実施。
東邦ガス㈱	平成 28 年度 ビオトープ活用	東邦ガス「ガスエネルギー館」の敷地に整備された
	ワークショップ運営業務	ビオトープ広場を活用し、ビオトープワークショップ
		を1回開催運営。
		「親子で遊んで学ぼう!ビオトープ」は、なごや環
		境大学の一環として、親子を対象として3月の春休に
		実施。

受託先	件	名	内 容
(株) 創建	平成 28 年度	技術支援業務	(株) 創建が実施するコンサルタント業務等に関し、
			業務の指導・アドバイス、又は照査を担当し、関連業
			務の打合せ等に参加すると共に、それらの業務成果物
			等の内容の精査を実施し、関係業務における技術的な
			支援を実施。

<補助事業>

補助元	件 名	内 容
環境省/全	平成 28 年度 地域における地	温対法に基づき、地域における地球温暖化防止活動
国センター	球温暖化防止活動促進事業<	の基盤を形成し、低炭素社会の構築を目指す業務。
	基盤形成事業>(愛知県)(*)	具体的には、①「地球温暖化対策に関する啓発・広
		報」、②「地球温暖化防止活動推進員の支援」、③「民
		間団体等の実態把握と支援」、④「温室効果ガスに関す
		る相談・助言等」、⑤「排出実態の把握・分析」、⑥「連
		絡調整会議の設置と開催運営」を実施。
環境省/全国	平成 28 年度 うちエコ診断実	イオンリテール㈱の依頼により、イオンモール岡崎
センター	施業務	店、イオンモールナゴヤドーム前店で、来客者を対象
		に環境省のうちエコ診断を実施。
		いずれも、イオンモールのリホーム展示売り場で、
		事前予約の来場者に「うちエコ診断」を実施し、受診
		者の家庭におけるエネルギー使用状況と CO2 排出量を
		見える化し、家庭における省エネ活動を支援。

<助成事業>

\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \		
助成元	件 名	内 容
三井住友信託	平成 28 年度 公益信託 地	一昨年度、昨年度に続き採択された3年目のフロン対策
銀行	球環境保全フロン対策基金助	に関わる普及啓発事業で、事業の活動名は、「ESD の推
	成事業	進!次世代へ持続可能なフロン対策の実施~オゾン層保
		護と地球温暖化防止に向けて~」と設定。
		「なごや環境大学共育講座」(環境科学カフェ+<プラ
		ス>)を3回開設。具体的には、環境科学カフェの+(プラ
		ス)として、第1回は、+歴史散策、第2回は、+ミニ音楽
		会、第3回は、+工場見学を実施。
		また、「子どもフロン教室」を6か所で開催(名古屋市トワ
		イライトスクールを活用)。さらに、「自治体主催環境イベン
		ト」へのブース出展(4 自治体で実施)。

備考) (*) 印は、愛知県温暖化防止活動推進センターの指定に伴う事業。

Ⅱ.総会・役員会等の開催状況【定款第4章、第6章】

項目	開催状況
総会の開催	(総会) 第81回通常総会 [平成28年度前期] 開催:平成28年6月17日 会場:名古屋都市センター 議案:平成27年度事業報告案について 平成27年度決算報告案について その他 出席者:会員51名の内30名(うち委任状:17名) 第82回通常総会 [平成28年度後期] 開催:平成29年3月17日 会場:ウインクあいち 議案:平成29年度事業計画案について 平成29年度収支予算案について その他 出席者:会員48名の内28名(うち委任状:16名)
役員会の開催	< 理事会(役員会) > 平成 28 年度前期理事会(出席者:7名) 開催:平成 28 年 5 月 18 日会場:ウィンクあいち 議案:平成 28 年度(前期)通常総会の開催について 平成 27 年度事業報告案について 平成 27 決算報告案について 任期満了に伴う理事・監事の選任案について その他
	平成 28 年度後期理事会 (出席者:5名) 開催:平成 29 年 2 月 16 日 会場:ウィンクあいち 議案:平成 28 年度(後期)通常総会の開催について 平成 29 年度事業計画案について 平成 29 年度収支予算案について その他
企画委員会の開催	〈企画委員会〉 平成28年度第1回企画委員会(出席者:4名) 開催:平成29年1月19日 会場:名古屋都市センター 内容:意見交換 (1)世界「空気の日」制定に向けた取組みについて (2)「講演会・セミナー」(年3回開催)について (3)機関誌「環境」(年3回発刊)について (4)当社団の今後の在り方について ~一般社団移行後4年!5年目を迎えるにあたって~